



参政党新宿まなびとまもりの会では、新宿区政に関する情報や区議会報告の他、区民のみなさまのお役に立てる情報の発信をしていきます。

## 区民の命と健康が軽視されています

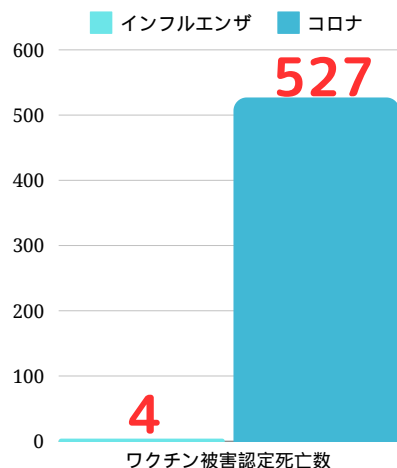
こんにちは。新宿区議会議員の青木ひとみです。

議会では繰り返し新型コロナウイルスワクチンに関する質問をしています。新型コロナワクチンはmRNAワクチンという新しいタイプのものであるにもかかわらず、十分な治験も実施されないまま非常に短期間で拙速に承認されてしまいました。そのため承認前から安全性に問題があると警鐘を鳴らしている専門家もいました。

そのことは予防接種健康被害救済制度の件数に表れてきました。昭和51年にこの制度が制定されてから令和3年12月までの約45年間に、すべてのワクチンで健康被害が認定された件数を、新型コロナワクチンだけで大幅に上回ってしまいました。また、接種回数を同程度に揃えて死亡認定数を比べた場合、インフルエンザワクチンが4件に対してコロナワクチンは527件と、非常に大きな差があります。コロナワクチンの死亡認定数は11月29日時点で915件となっています。(いずれも厚生労働省の公表データから集計)

厚生労働省は令和3年2月の時点でこのワクチンの危険性がわかる情報を持っていました。政府がきちんと国民に知らせていたら、被害がここまで広がることはなかったと思うと残念でなりません。

ワクチンの種類	健康被害認定件数	死亡認定数
コロナ以外のワクチンすべて 昭和51年～令和3年12月	3,522件	151件
新型コロナワクチンのみ 令和3年2月～令和6年11月	8,501件	915件



今年10月からは65歳以上の方を対象に定期接種が始まっています。これだけ健康被害が広がっているワクチンなのに、まだ接種を続けるというのはどういうことでしょうか。国民の命と財産を守るのが政府の役割のはずですが、今はその正反対のことをしているように思います。製薬会社の利益のほうが国民の命よりも大事だということでしょうか。私たち日本人の命が軽視されているように感じてしまいます。

自分自身と大切な人を守るためにはバランスの取れた多面的な情報を得て、おかしいことにはおかしいと声を上げていかないといけません。政府が安全性に問題のあるワクチン接種を進めるなら、せめて区には丁寧な情報提供をしていただきたいと、今回も一般質問で取り上げました。第4回定例会の一般質問については裏面にまとめています。

# 令和6年第4回定例会で一般質問をおこないました

令和6年第4回定例会が12月9日に終了しました。

参政党新宿まなびとまもりの会では、区民への情報提供についてというテーマで、新型コロナウイルスの副反応等について詳細な情報を求める一般質問をしました。

## 質問1

### 10月からのコロナワクチン定期接種について

製薬会社の社員が匿名で出版した書籍「私たちは売りたいくない！」や日本看護倫理学会の声明などを紹介し、レプリコンワクチンの危険性を訴えたうえで、区の認識と今回の定期接種の現在までの接種状況を質問しました。

- 1 現在までにレプリコンワクチンが承認されている国は日本以外にあるか
- 2 区では接種対象者が約7万人、接種率60%を見込んでいたが、現在までの接種者数と接種率は

## 質問2

### 十分な情報提供をしないことのリスクについて

アメリカではトランプ政権が誕生し、製薬会社の内部データが公開される可能性があります。薬害訴訟などのリスクもあるので、他市の事例なども紹介しながら副反応の種類や症状などを詳しくウェブページなどに掲載するよう求める質問をしました。

- 1 健康被害の被害者から訴訟があった場合、責任は国と区とどちらにあるのか
- 2 ワクチンの副反応に気付いていない人も多くいるので、副反応の種類や症状などを詳しく掲載してほしい

## 区長答弁

- ①現時点において、レプリコンワクチンの承認事例は日本のみであると認識している。
- ②令和6年10月1日から10月31日までの接種者数は約6,000人、接種率は約9%。

## 区長答弁

- ①新型コロナウイルス定期接種の実施主体は区であり、区が責任を問われる可能性があるが、医師が予診票に署名をいただいた上で、接種を行っている。
- ②区では、送付するお知らせの中で、副反応の具体的な症状について記載しているほか、区ホームページにおいて、国や東京都のホームページを案内している。

議会中継  
青木仁美 一般質問



青木仁美  
X(旧Twitter)



mRNAワクチンは繰り返し接種することで免疫が下がるという研究結果があります。毎回接種していれば今回で8回目になるのでしょうか。ワクチンの専門家の間では頻回接種は危険というのが常識だという話もあります。接種率が低くなってきているのがせめてもの救いです。

アメリカではCDC（疾病管理センター）の元トップが下院の公聴会で「コロナワクチンには予防効果がない」と証言しました。効果がない上に多くの副反応があるワクチンを国民に打たせていたと認めたのです。世界ではすでに誰も打たなくなっているワクチンを日本人だけが打ち続けている状況です。日本人の命と健康を守るためには一人ひとりが気付いて変えていくしかありません。

青木仁美（あおきひとみ）

新宿区議会議員 令和5年4月初当選  
参政党新宿まなびとまもりの会代表  
関西学院大学文学部哲学科卒業  
新宿区山吹町在住



発行元：参政党新宿まなびとまもりの会

162-0801 東京都新宿区山吹町366-1-1304

電話：050-3690-1501

メール：info@aokihitomi.com